



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月15日

上場会社名 S Dエンターテイメント株式会社 上場取引所 東
コード番号 4650 URL <https://sdentertainment.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 誠
問合せ先責任者 (役職名) 経営推進部長 (氏名) 岡野 靖彦 TEL 011-860-2525
定時株主総会開催予定日 2025年6月25日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年6月27日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	4,201	12.5	98	△20.2	60	△26.6	93	△20.5
2024年3月期	3,735	△1.0	122	84.8	82	549.5	117	—

(注) 包括利益 2025年3月期 91百万円 (△22.7%) 2024年3月期 118百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	10.48	—	6.1	1.4	2.3
2024年3月期	13.17	—	8.2	1.9	3.3

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 ー百万円 2024年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	4,207	1,584	37.7	177.00
2024年3月期	4,240	1,493	35.2	166.76

(参考) 自己資本 2025年3月期 1,584百万円 2024年3月期 1,493百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	85	△216	△239	486
2024年3月期	27	52	△218	858

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期 末	第2四半期 末	第3四半期 末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期 (予想)	—	0.00	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	19.0	80	△18.5	40	△34.0	210	123.8	23.45

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 合同会社TAISETSU、除外 1社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正無再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年3月期	8,997,000株	2024年3月期	8,997,000株
2025年3月期	42,989株	2024年3月期	42,988株
2025年3月期	8,954,011株	2024年3月期	8,954,012株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、[添付資料] 4 ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	15
(セグメント情報等の注記)	15
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用形態等の改善が見受けられた一方で物価上昇に伴う節約志向の高まりにより景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、主力事業であるウェルネス事業の成長戦略を積極的に推進してまいりました。フィットネスおよび介護においては、集客が好調なピラティススタジオ「スターピラティス」の展開や、就労支援B型事業所「リバイブ」の新規出店を進め、事業の拡充を図りました。また、保育においては、認可保育所2園を運営している合同会社T A I S E T S Uがグループに加わり、より安定した保育サービスの提供を進めました。その他事業領域においてもサービス向上に努め、より良い価値を提供できるよう取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は42億1百万円（前連結会計年度比12.5%増）、売上総利益は39億13百万円（前連結会計年度比11.9%増）、営業利益は98百万円（前連結会計年度比20.2%減）、経常利益は60百万円（前連結会計年度比26.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は93百万円（前連結会計年度比20.5%減）となりました。

当連結会計年度における売上高をセグメント別に示すと次のとおりであります。

<事業部門売上高>

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	前連結会計年度比 (%)
ウェルネス事業 (千円)	3,623,705	109.8
(フィットネス)	873,121	100.1
(保育・介護等)	2,750,583	113.3
クリエイション事業 (千円)	66,416	88.5
不動産賃貸事業 (千円)	168,040	95.9
その他 (千円)	343,666	185.7
合計 (千円)	4,201,829	112.5

- (注) 1. ウェルネス事業は、フィットネス部門、保育部門、介護部門の売上高であります。
2. クリエーション事業は、オンラインクレーンゲーム部門の売上高であります。
3. 不動産賃貸事業は、不動産賃貸部門の売上高であります。
4. その他は、コールセンター部門、カウネット代理店部門等の売上高であります。

(ウェルネス事業)

フィットネスは、「スターピラティス」の店舗展開を積極的に推進し、新たなサービスの提供に注力し、札幌市内に3店舗、伊丹に1店舗、大阪市（天六地区）に1店舗、福岡市（博多地区）に1店舗、北九州市（小倉地区）に2店舗展開いたしました。9月に閉店した総合型店舗の影響はありましたが、既存店の改装や営業施策でサービス向上に努め、売上高は前連結会計年度比100.1%となりました。

保育・介護等は、介護等において就労支援B型事業所「リバイブ」の拡充を進め、札幌市に1店舗、神奈川県及び埼玉県にて計6店舗を展開いたしました。また保育ではグループインした認可保育所2園（横浜市）が7月から加わり、安定したサービス提供を継続し、園児充足率を高い水準で維持したことで、売上高は前連結会計年度比113.3%となりました。

以上の結果、ウェルネス事業の売上高は36億23百万円（前連結会計年度比109.8%）となりました。

(クリエイション事業)

オンラインクレーンゲームは、定期的なイベント開催や話題の景品の投入などを行い一定の効果は見られたものの前年を上回ることができず、売上高は66百万円（前連結会計年度比88.5%）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸は、リーシング活動を強化しテナント誘致に努めましたが、特定物件における空室が解消されず、売上高は1億68百万円（前連結会計年度比95.9%）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社子会社が運営するコールセンター事業やカウネット代理店事業、通販サイトなどのEC事業等となり、売上高は3億43百万円（前連結会計年度比185.7%）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、13億63百万円となり前連結会計年度末に比べ71百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が3億71百万円減少し、売掛金が1億5百万円、未収入金が1億27百万円増加したことによるものであります。固定資産は、28億43百万円となり前連結会計年度末に比べ39百万円増加しました。これは主に、有形固定資産が36百万円減少し、無形固定資産が81百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、42億7百万円となり前連結会計年度末に比べ32百万円減少しました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、20億3百万円となり前連結会計年度末に比べ17百万円減少しました。これは主に、買掛金が48百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が35百万円、1年内償還予定の社債が16百万円、未払金が17百万円減少したことによるものであります。固定負債は、6億18百万円となり前連結会計年度末に比べ1億7百万円減少しました。これは主に、社債が11百万円、長期借入金が65百万円、資産除去債務が15百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、26億22百万円となり前連結会計年度末に比べ1億24百万円減少しました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、15億84百万円となり前連結会計年度末に比べ91百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益93百万円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は37.7%（前連結会計年度末は35.2%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億71百万円減少し、4億86百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前連結会計年度に比べ57百万円増加し、85百万円となりました。これは主に、補助金の受取額が25百万円、法人税等の支払額が72百万円（前連結会計年度は法人税等の支払額124百万円）あったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ2億69百万円増加し、2億16百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が1億27百万円、資産除去債務の履行による支出が27百万円、差入保証金の差入れによる支出が23百万円あったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ21百万円増加し、2億39百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入が1億10百万円、長期借入金の返済による支出が2億95百万円、社債の償還による支出が27百万円あったことなどによるものであります。

(キャッシュ・フロー指標のトレンド)

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率 (%)	31.1	35.2	37.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	55.5	60.4	59.0
債務償還年数 (年)	—	72.2	22.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	0.8	2.3

自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

債務償還年数 : 有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー/利払い

(注) 1. 株式時価総額は、期末株価終値に期末発行済株式総数を乗じて算出しております。

2. インタレスト・カバレッジ・レシオはキャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を同「利息及び保証料の支払額」で除して算出しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、経済活動の更なる回復が期待される一方、米国の通商政策の影響や物価上昇により、引き続き先行き不透明な状況が続くと懸念されます。

このような状況のもとで、当社グループは、引き続き、コスト削減を意識しつつ、ウェルネス事業の成長戦略を更に加速し、業績向上を目指します。

売上高は、「スターピラティス」の出店や就労支援B型事業所「リバイブ」の複数出店での展開、2024年6月末にグループ入りした認可保育園の通期寄与、関東圏の保育でのインターナショナルプリスクールの展開等による収入増等により、50億円を見込んでおります。利益面では、出店等に伴う設備投資費用や人材育成に係る教育費用(人材開発助成金の対象)の増加により、営業利益80百万円、経常利益40百万円、親会社株主に帰属する当期純利益210百万円を見込んでおります。

なお、業績予想につきましては、現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主への利益還元を重要な経営課題の一つと位置付けており、適切な利益還元と経営財務の安定性確保の観点から、当期純利益の水準に応じた業績連動型配当の実施を基本方針とし、配当性向10%~50%を目処とすることを基本方針にしております。

当期の期末配当金につきましては、2025年3月25日公表の「剰余金の配当(無配)に関するお知らせ」のとおり無配とさせていただきます。

次期の期末配当金につきましては未定とさせていただきます。今後、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	858,375	486,637
売掛金	200,314	305,430
商品	99,953	110,475
貯蔵品	9,727	10,001
未収還付法人税等	15,346	—
その他	251,799	451,823
貸倒引当金	△800	△1,184
流動資産合計	1,434,715	1,363,184
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,584,347	3,641,016
減価償却累計額	△2,355,656	△2,453,407
建物及び構築物(純額)	1,228,691	1,187,609
機械装置及び運搬具	200	492
減価償却累計額	△200	△252
機械装置及び運搬具(純額)	—	239
アミューズメント機器	13,046	13,046
減価償却累計額	△13,046	△13,046
アミューズメント機器(純額)	—	—
工具、器具及び備品	235,631	284,839
減価償却累計額	△173,544	△204,859
工具、器具及び備品(純額)	62,086	79,980
土地	1,117,148	1,117,148
リース資産	98,326	89,046
減価償却累計額	△64,556	△69,175
リース資産(純額)	33,770	19,870
有形固定資産合計	2,441,696	2,404,848
無形固定資産		
のれん	7,524	87,095
その他	12,811	15,157
無形固定資産合計	20,336	102,252
投資その他の資産		
投資有価証券	18,090	14,904
長期貸付金	24,599	15,688
差入保証金	273,054	277,887
繰延税金資産	12,854	13,186
その他	13,898	15,166
投資その他の資産合計	342,497	336,832
固定資産合計	2,804,530	2,843,932
繰延資産		
社債発行費	865	186
繰延資産合計	865	186
資産合計	4,240,111	4,207,304

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	77,544	125,858
短期借入金	1,210,000	1,200,000
1年内償還予定の社債	27,800	11,200
1年内返済予定の長期借入金	225,903	190,298
リース債務	15,741	12,722
未払金	137,420	119,533
未払法人税等	41,787	46,602
前受金	6,838	13,113
賞与引当金	39,412	49,037
株主優待引当金	20,000	17,000
その他	218,578	218,300
流動負債合計	2,021,026	2,003,667
固定負債		
社債	11,200	—
長期借入金	532,909	467,075
リース債務	21,809	9,086
繰延税金負債	13,705	13,003
資産除去債務	106,867	91,521
その他	39,400	38,093
固定負債合計	725,892	618,779
負債合計	2,746,918	2,622,447
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,173,662	808,245
利益剰余金	215,144	674,382
自己株式	△9,684	△9,684
株主資本合計	1,479,123	1,572,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,069	11,913
その他の包括利益累計額合計	14,069	11,913
純資産合計	1,493,192	1,584,857
負債純資産合計	4,240,111	4,207,304

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	3,735,036	4,201,829
売上原価	238,034	288,764
売上総利益	3,497,002	3,913,064
販売費及び一般管理費		
給料	1,323,501	1,532,930
賞与引当金繰入額	39,412	46,937
退職給付費用	8,426	8,907
株主優待引当金繰入額	20,000	17,000
水道光熱費	178,379	166,933
地代家賃	435,231	459,912
減価償却費	174,566	181,863
その他	1,194,515	1,400,468
販売費及び一般管理費合計	3,374,032	3,814,953
営業利益	122,969	98,111
営業外収益		
受取利息	131	378
受取配当金	494	501
受取保険金	1,003	737
受取返戻金	758	490
その他	1,309	856
営業外収益合計	3,697	2,964
営業外費用		
支払利息	37,083	36,797
社債保証料	326	121
社債発行費償却	1,204	678
その他	5,435	2,838
営業外費用合計	44,050	40,436
経常利益	82,616	60,639
特別利益		
投資有価証券売却益	5,456	—
補助金収入	8,843	133,765
転貸損失引当金戻入益	21,600	—
災害に伴う受取保険金	87,315	—
債務免除益	—	19,882
特別利益合計	123,215	153,648
特別損失		
固定資産売却損	—	254
固定資産除却損	1,476	3,387
固定資産圧縮損	—	19,000
災害による損失	9,061	—
店舗閉鎖損失	—	21,171
特別損失合計	10,537	43,813

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
税金等調整前当期純利益	195,294	170,474
法人税、住民税及び事業税	74,694	76,657
法人税等調整額	2,658	△4
法人税等合計	77,353	76,653
当期純利益	117,941	93,821
親会社株主に帰属する当期純利益	117,941	93,821

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	117,941	93,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	574	△2,156
その他の包括利益合計	574	△2,156
包括利益	118,515	91,665
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	118,515	91,665
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	1,173,662	97,203	△9,684	1,361,182
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			117,941		117,941
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	117,941	—	117,941
当期末残高	100,000	1,173,662	215,144	△9,684	1,479,123

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	13,494	13,494	1,374,677
当期変動額			
親会社株主に帰属する当期純利益			117,941
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	574	574	574
当期変動額合計	574	574	118,515
当期末残高	14,069	14,069	1,493,192

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	1,173,662	215,144	△9,684	1,479,123
当期変動額					
資本剰余金から利益剰余金への振替		△365,416	365,416		—
親会社株主に帰属する当期純利益			93,821		93,821
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△365,416	459,238	△0	93,820
当期末残高	100,000	808,245	674,382	△9,684	1,572,944

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	14,069	14,069	1,493,192
当期変動額			
資本剰余金から利益剰余金への振替			—
親会社株主に帰属する当期純利益			93,821
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,156	△2,156	△2,156
当期変動額合計	△2,156	△2,156	91,664
当期末残高	11,913	11,913	1,584,857

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	195,294	170,474
減価償却費	193,040	199,605
のれん償却額	6,019	12,959
災害に伴う受取保険金	△87,315	—
災害による損失	1,028	—
店舗閉鎖損失	—	15,207
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△39,976	—
株主優待引当金の増減額(△は減少)	600	△3,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	334	383
賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,094	7,525
受取利息及び受取配当金	△625	△880
支払利息及び保証料	37,083	36,797
社債発行費償却	1,204	678
固定資産除却損	1,476	3,387
固定資産売却損益(△は益)	—	254
固定資産圧縮損	—	19,000
投資有価証券売却損益(△は益)	△5,456	—
補助金収入	△8,843	△133,765
売上債権の増減額(△は増加)	△59,371	△93,776
棚卸資産の増減額(△は増加)	△69,643	△10,796
未収消費税等の増減額(△は増加)	△9,442	9,517
その他の資産の増減額(△は増加)	△106,984	△58,014
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,854	48,313
未払消費税等の増減額(△は減少)	16,989	△5,166
未払金の増減額(△は減少)	22,816	△44,826
その他の負債の増減額(△は減少)	24,190	△21,555
小計	81,468	152,324
利息及び配当金の受取額	499	792
利息及び保証料の支払額	△35,384	△37,441
災害に伴う受取保険金の受取額	87,315	—
補助金の受取額	8,656	25,874
法人税等の支払額	△124,738	△72,235
法人税等の還付額	10,009	15,691
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,825	85,005
投資活動によるキャッシュ・フロー		
長期貸付金の回収による収入	9,000	9,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△5,934
投資有価証券の売却による収入	11,780	—
有形固定資産の取得による支出	△60,073	△127,176
無形固定資産の取得による支出	△6,392	△18,150
差入保証金の差入による支出	△3,982	△23,048
差入保証金の回収による収入	157,939	722
長期前払費用の取得による支出	△7,679	△9,070
原状回復による支出	△32,462	△15,207
資産除去債務の履行による支出	△15,555	△27,992
投資活動によるキャッシュ・フロー	52,573	△216,859

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	310,000	250,000
短期借入金の返済による支出	△300,000	△260,000
長期借入れによる収入	50,000	110,000
長期借入金の返済による支出	△223,417	△295,827
長期末払金の返済による支出	—	△979
自己株式の取得による支出	—	△0
社債の償還による支出	△37,800	△27,800
リース債務の返済による支出	△17,654	△15,277
財務活動によるキャッシュ・フロー	△218,871	△239,883
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△138,472	△371,737
現金及び現金同等物の期首残高	996,848	858,375
現金及び現金同等物の期末残高	858,375	486,637

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、国内においてフィットネス事業、保育事業、介護事業、オンラインクレーンゲーム事業、不動産賃貸事業を主な事業として営み、所在地別ではなく事業別に事業活動している事業者であります。各事業の特性および重要性の観点から「ウェルネス事業」「クリエイション事業」「不動産賃貸事業」の3つを報告セグメントとしております。

・「ウェルネス事業」

フィットネスクラブ等の運営、企業主導型保育の運営及び介護施設等の運営をしております。

・「クリエイション事業」

オンラインクレーンゲームの運営をしております。

・「不動産賃貸事業」

当社所有の建物ならびに土地の賃貸をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表計 上額(注) 3
	ウェルネス 事業	クリエイシ ョン事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,299,786	75,063	175,137	3,549,988	185,048	3,735,036	-	3,735,036
セグメント間 の内部売上 高又は振替 高	-	-	-	-	229,061	229,061	△229,061	-
計	3,299,786	75,063	175,137	3,549,988	414,109	3,964,097	△229,061	3,735,036
セグメント利 益又は損失 (△)	145,987	△12,606	114,284	247,665	155,942	403,608	△280,638	122,969

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「カウネット事業」「コールセンター事業」等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△280,638千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表計 上額(注) 3
	ウェルネス 事業	クリエイシ ョン事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,623,705	66,416	168,040	3,858,162	343,666	4,201,829	-	4,201,829
セグメント間 の内部売上 高又は振替 高	9,831	-	-	9,831	243,897	253,728	△253,728	-
計	3,633,536	66,416	168,040	3,867,993	587,563	4,455,557	△253,728	4,201,829
セグメント利 益	120,053	2,339	110,780	233,173	174,020	407,194	△309,082	98,111

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「カウネット事業」「コールセンター事業」等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△309,082千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	166.76円	177.00円
1株当たり当期純利益金額	13.17円	10.48円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,493,192	1,584,857
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,493,192	1,584,857
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	8,954,012	8,954,011

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	117,941	93,821
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	117,941	93,821
普通株式の期中平均株式数(株)	8,954,012	8,954,011

(重要な後発事象)

該当事項はありません。